

と海の幸～



ヤリイカ 味覚まつり



9:30 受付開始

定員の100人を大幅を超える申し込みがあり、参加予定の122人が次々に到着し受付をしました。一番遠方からいらっしたのは宮城県からの参加者でした。中里地区からも10人以上の参加がありました。

10:00 開会式

開会式では、葛西徳男うみどり一む振興公社理事長が、「今年のヤリイカ漁は不漁だが、皆さんが体験できる分は確保しているので、安心して下さい」とあいさつ、



また、小野町長が「前日には竜泊ラインが開通し、ようやく観光シーズンがやってきました。今日の祭りを楽しんで、夏にも来て下さい」とあいさつしました。続いて、権現漁火会のメンバーによるヨサコイソーランで参加者を歓迎しました。2曲目では参加者も輪の中に加わって踊っていました。



10:20 イベント開始 大漁イカ釣り体験

水槽の中では新鮮なイカが悠々と泳いでいます。参加者は、5人ずつ順番に針のついたさおでイカを釣ります。なかなか釣れない人、釣ったイカに水を吹きかけられる人など、大きな歓声をあげながらイカ釣りを体験しました。参加者全員が釣れたので、今日は大漁です。



ヤリイカ刺身づくり

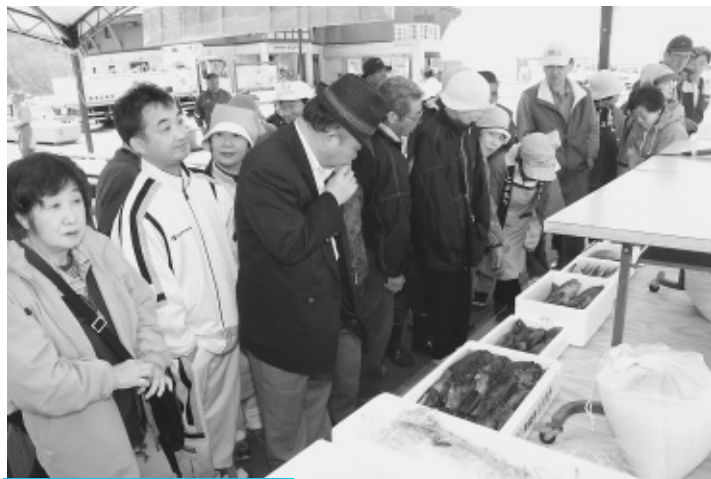
今度は自分で釣ったイカを刺身にします。エプロン姿の参加者は釣りたてのイカを器用(?)にさばっていきます。小さい子供たちも包丁を持って、イカを切っていました。この日の昼食のメニューはこれで決まりです。

塩辛づくり体験

刺身の次は塩辛です。ほとんどの方が塩辛づくりは初挑戦ということです。イカを開いてしばらく乾燥させます。乾いたところで刺身のよう
に細切りにします。それにゴロを混ぜてかき回します。あっという間に自家製塩辛の出来上がり。できあがった塩辛はお土産として一人1パック持ち帰りました。

**クイズ・ビンゴ大会**

今回は全体を2班に分けて行動したため、待ち時間を利用してクイズとビンゴ大会も行われました。クイズではヤリイカや小泊に関する問題が10問出題され、高得点者には会場内で使える商品券が贈られました。またビンゴ大会でも先着でビンゴした方に商品券が贈られました。

**13:30 生き生き競り市**

昼食を食べておなかがいっぱいになったところで今度は競り市。イカやメバルなど小泊産の海産物を中心に30点が並びました。せり人の「〇〇円からスタート」の声を合図に次々と競っていきます。市価より安いということもあって、アワビやカニ、タイなどの人気商品は白熱したせりが繰り広げられ、用意した商品すべてが完売しました。



14:00 終了 4時間にわたって行われた今回のイベントもいよいよ終了。参加者は、また機会があったら参加したいといいながら、家路につきました。

～大地の恵**こどもり****12:30 交流昼食会**

そろそろおなかやすいた頃、昼食の時間となりました。メニューは各自がつくった刺身、若生コンプのおにぎり、ホッケのすり身汁でした。みんな和気あいあいと料理に舌づつみを打っていました。